

## 学校経営推進費評価報告書（2年め）

### 1. 事業計画の概要

<b>学校名</b>	大阪府立難波支援学校
<b>取り組む課題</b>	生徒の自立支援
<b>評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講堂を利用した交流行事、イベント等に対する児童生徒、保護者、参加者の満足度</li> <li>・ 講堂（交流、研修等）の活用実績回数</li> </ul>
<b>計画名</b>	「なんば・なにわホール（仮称）」すまいるプロジェクト事業

### 2. 事業目標及び本年度の取組み

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	<p>3 児童生徒が、仲間とつながり、地域の人々とともに生きていく喜びを実感する</p> <p>(1) 本校の講堂（約1,000席）等を活用し、地域（小中学校、高等学校等を含む）との交流の機会拡大を図る。</p> <p>ア 交流校の開拓及び内容を深める。交流校数を昨年度より増やす。（昨年度7校）具体的な内容として、文化的行事を交流及び共同学習の中核に位置づける。参加児童生徒及び教員の肯定的評価を80%以上にする。</p> <p>ウ 地域の指導者を招き、地域の伝統的な皮革産業及び伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会を創出する。</p>
<b>事業目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校講堂（市民ホールに匹敵する施設）を地域に愛される学校づくりのシンボリックな施設と位置付ける。</li> <li>・ 子どもたちが、全国的にも知られている地域の産業である皮革、太鼓を体感できる場、発信する場とする。</li> <li>・ 豊かな地域・他校交流の場とし、子どもたちが地域で自立した生活を送るための基盤づくりとする。</li> <li>・ 府立学校の共有財産として、研修会や合同説明会等に活用いただくことで、大阪府全体の教育活動に貢献する。</li> </ul> <p>* 満足度アンケート、活用回数等を成果指標とし、行事、年度ごとの検証をふまえ、活用内容等を深化させる。</p>
<b>整備した 設備・物品</b>	<p>講堂の整備及び環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舞台照明機器（老朽化により不安定な状況）の整備</li> </ul>
<b>取組みの 主担・実施者</b>	<p>主担： 教頭</p> <p>実施者： 首席（2名）</p>
<b>本年度の 取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12月に開催した「なんば・なにわ祭」では、各部の舞台発表において効果的な舞台照明を実現することができ、子どもたちの生き生きとした発表につながるとともに、PTAコーラスなどPTA等との連携の充実に寄与した。</li> <li>・ なにわ高等支援学校との合同和太鼓では、音と光の操作性が格段に高まり、より質の高い演奏を演出することができた。また、大阪市内保育所が講堂を使用して交流会（和太鼓演奏の鑑賞会）を行い、本校の児童生徒も鑑賞する機会を得るなど、伝統的な太鼓演奏を学び、体感する機会の充実、確保に努めた。</li> </ul>

<b>成果の検証方法 と評価指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講堂活用交流校：7校</li> <li>• 講堂活用行事満足度：高等部アンケート結果満足度 80%</li> <li>• ホール名：「（仮称）すまいるホール」（今年度決定）</li> <li>• ホールの使用規定を検討（今年度原案決定）</li> </ul>
<b>自己評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 講堂活用交流校：7校 …………… (◎)</li> <li>• 講堂活用行事満足度：高等部アンケート結果満足度 81.6% …………… (○)</li> <li>• ホール名：「（仮称）すまいるホール」（今年度決定） …………… (○)</li> <li>• ホールの使用規定を検討（今年度原案決定） …………… (○)</li> </ul>
<b>次年度に向けて</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事業を実施して2年めの「なんば・なにわ祭」では満足度 81.6%となっている。照明の改修効果は引き続き高評価で、舞台発表に向けた指導スキルの向上とあいまって舞台発表の充実に大きく貢献している。</li> <li>• 60周年を迎える次年度には、ホール名の正式発表、披露を行うとともに、市内保育所の交流会など、本校以外の方にも活用機会を増やすことができるように活用規定等の策定に努め、ホームページ等での発信にも努めたい。</li> </ul>